

2013 年度東京 Y M C A 社会体育・保育専門学校 学校関係者評価表

1. 学校の教育目標

本校の教育目標は社会体育専門課程と保育専門課程において以下のように乳幼児から高齢者の人々を対象とし、社会において役立って働く青年を育成する。 健全な発育・発達が促進されるため。 健康な生活習慣が創り出されるため。 人と人との出会いや豊かな人間関係が育まれるため。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 現場主義を教育理念の1つとし職業実践教育を継続して行う。
(Y M C A ・他団体での通常実習制度の充実)
2. 1 学生が2 資格以上資格取得することができるようにする。
3. 就職率 90% 以上を維持する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1		
・学校の理念・目的・育成人材増は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	2	1

課題

2020 年東京オリンピック開催も決定し、益々スポーツへの期待は社会的にも高まっている。健康とスポーツ文化を創設する指導者を養成するための学校としていく。

今後の改善方策

Y M C A のスポーツ部門、保育園、幼稚園と強固な連携を持っているが、同様に他団体・企業ともさらに連携を強化していく。

特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1		
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効的に機能しているか	3	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	2	1

課題

〔 さらに情報を公開していく。 〕

今後の改善方策

〔 2014 年度には 2013 年度学校関係者評価表を公開する。 〕

特記事項

〔 〕

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1		
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	2	1
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	2	1
・人材育成の目標達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	2	1

課題

日本におけるスポーツのパイオニアとしてのYMCA 130余年の歴史を持つスポーツ指導者養成校ではあるが、幼児教育、医療、福祉分野での期待にも応えていける専門学校にしていく。

今後の改善方策

スポーツインストラクター科に新設されたこどもスポーツコースの実習・インターンシップを充実していく。

特記事項

公益財団法人東京 YMCA のスポーツ、キャンプ、こども園、保育園、幼稚園との関係を深めていく。それぞれの専門分野だけでなく総合性を持つ人格を形成する教育を行っていく。

(4) . 学修成果

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや適切...2、不適切...1
・就職率の向上が図られているか	3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	3 2 1
・退学率の低減が図られているか	3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 2 1

課題

体育科就職率93%、保育科就職率100%を達成することが出来た。

今後の改善方策

資格取得に関してはAT、健康運動実践指導者、幼稚園教諭2種免許、サッカー、テニス、水泳の各協会公認資格を取得しているがさらに一人2資格取得に向け強化指導体制を整えていく。

特記事項

体育科は全員が健康運動実践指導者資格取得を目指す。取得費用は授業料の中に含まれている。
保育科は卒業と同時に保育士免許を取得できる。

(5) . 学生支援

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや適切...2、不適切...1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3 2 1

課題

クラス担任とゼミ担任そしてクラブ活動の担当教諭が一人一人の学生の学習指導、生活指導を行う、3者の連携の強化による学生指導、学生支援体制を整えている。

今後の改善方策

担任、ゼミ担当教員研修、各学会への派遣と論文作成等の支援が課題。

特記事項

学生全員が卒業研究論文を作成する。一人が一専門研究分野を持つ。

(6) . 教育環境

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや適切...2、不適切...1		
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	3	2	1

課題

姉妹校アメリカスプリングフィールド大学との連携、世界中の災害地への国際ボランティア派遣等の単位認定。

今後の改善方策

総合体育施設が建築後25年になるので改修計画等を考えていく。

特記事項

(7) . 学生の受入募集

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや適切...2、不適切...1		
・学生募集活動は、適正に行われているか	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	3	2	1

課題

学生募集担当者だけでなく全教員が一体となって募集活動を行っている。

今後の改善方策

学生募集担当部門を充実し時代の要請に応えていく必要がある。

特記事項

本校独自の奨学金制度を持つ。

(8). 財務

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや適切...2、不適切...1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 2 1

課題

学校母体である公益財団法人東京YMCAの公開は行っている。

今後の改善方策

本校だけの財務状況を公開。

特記事項

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや適切...2、不適切...1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3 2 1
・自己評価の実態と問題点の改善を行っているか	4 2 1
・自己評価結果を公開しているか	3 2 1

課題

自己評価だけでなく学校関係者評価委員会による評価を行うことが出来た。更に第3者評価が出来るようにしていきたい。

今後の改善方策

さらに開かれた学校として情報の開示への改善を行う。

特記事項

2014 年度東京 YMCA 社会体育・保育専門学校
第 1 回学校関係者評価委員会議事録

日時：平成 26 年 9 月 6 日(土) 11 時～12 時

場所：東京 YMCA 社会体育・保育専門学校 1 階会議室

委員定数：7 名

出席委員：6 名 伊藤郁夫（百合丘高校教諭） 沖 利柯（東京 YMCA 山手センター館長）
草分俊一（東京 YMCA 東陽町ウエルネスセンター所長） 阿部 亮（校友会長）
堀口廣司（校長） 佐治克彦（教務部長）

欠席委員：1 名 金子章子（保護者代表）

・校長挨拶と職業実践専門課程の認定についての説明

今年度よりスポーツトレーナー科、スポーツインストラクター科が職業実践専門課程の認定を受けることとなり、認定に至る経過説明が堀口校長よりあった。

・学校関係者評価表に関して

今年度も昨年同様、自己評価に基づき「学校関係者評価」を行うが、これを学校関係者評価表としてまとめ、HP へ掲載していくことの説明が堀口校長よりありこれを承認した。

・2013 年度学校関係者評価に関して

2013 年度自己評価表に関して堀口校長より説明があり、その項目に沿って学校関係者評価としてのコメントをいただいた。以下の項目が特に学校関係者評価として強調すべき改善点として挙げられた。

- ・公益財団法人東京 YMCA のスポーツ、キャンプ、こども園、保育園、幼稚園との関係をさらに深めていき、それぞれの専門分野だけでなく総合性を持つ人格を形成する教育を行っていく。
- ・体育科は全員が健康運動実践指導者資格取得を目指す。
- ・本校独自の奨学金制度を整備する。

・その他

堀口校長より企業、卒業生、高校、保護者の皆様と密接かつ組織的に連携し職業実践専門課程認定校にふさわしい学校としていきたい。また今までの職業現場と一体化していた本校の実践的なカリキュラムを更に強化するため「教育課程編成委員会」とも連携し、理想の学校を作り上げて行きたいとの挨拶があり閉会した。

以上

記録 佐治克彦

東京 YMCA 社会体育・保育専門学校関係者評価委員会

校長 堀口廣司 印

議事録署名人 草分俊一 印